

令和2年度B日程
学力検査問題

①

国語

注意

- 1 開始の合図があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- 2 解答用紙は問題用紙の中に挟んであります。
- 3 問題用紙は表紙を除いて6ページで、問題は□一から□三まであります。
- 4 開始の合図があったら、まず、問題用紙および解答用紙の所定の欄に
受検番号を書きなさい。
- 5 答えはすべて**解答用紙の指定された欄**に書きなさい。

受 検 番 号

□ 次の(一)～(五)の問いに答えなさい。

(一) 次の1・2の文の——線部の漢字の読みがなを、それぞれ書け。

1 紛争を仲裁する。

2 この物語は殊におもしろい。

(二) 次の1・2の文の——線部のカタカナを、それぞれ適切な漢字に直して書け。

1 友人をベンゴする。

2 的をいた質問をする。

(三) 次の行書で書かれた漢字を楷書で書くとき、総画数が同じ漢字を、後のア～エから一つ選び、その記号を書け。

弦

ア 革

イ 吸

ウ 版

エ 批

(四) 次の俳句とその鑑賞文を読み、後の1・2の問いに答えよ。

著作権保護のため掲載していません。

1 鑑賞文中の□に当てはまる言葉として適切なものを、俳句の中から四字でそのまま抜き出して書け。

2 冒頭の俳句で使われている表現技法を、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア 対比

イ 直喩

ウ 切れ字

エ 体言止め

- (五) みのりさんの学級では、体験学習を行った。次の文章は、みのりさんが体験学習でお世話になった方たちに宛てた手紙である。この【手紙】を読み、後の1～3の問いに答えよ。

【手紙】

拝啓

^A雨にぬれた緑がきらきらと輝いて美しい季節になりました。皆様方にはいかががお過ごしでしょうか。^Bこちらは期末テストを控えて、みんな勉強に励み始めました。

先日はお忙しいところ、私たちの体験学習のためにお時間をいただき、ありがとうございます。初めは、触ったこともない材料や道具を前にしてとても緊張しました。けれども、皆様に丁寧なご指導をいただき、ものづくりの難しさや奥深さを感じながら、楽しく過ごすごことができました。^C

^Cさて、この度、学級で体験学習を通して感じたことなどを文集にまとめました。私たちが学んだことや感謝の気持ちがつづられています。同封いたしますので、どうぞ皆様で見てください。^D

これから暑くなりますが、皆様、お体に気をつけてお過ごしください。

d	b	c	a
---	---	---	---

1 【手紙】中の——線部の「見てください」の「見る」を尊敬語に直して、——線部全部を書き改めよ。

2 手紙の形式に従ったとき、【手紙】中の **a** ～ **d** に当てはまる言葉として適切なものを、次のア～エから一つずつ選び、その記号を書け。ただし、それぞれの記号は一度しか使わないものとする。

ア 六月二十日

イ 株式会社たくみ御中

ウ 敬具

エ 若葉中学校 二年一組 田中みのり

3 【手紙】中の——線部A～Dの表現についての説明として誤っているものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア Aでは、漢語をあまり用いないことによって、堅く改まった印象を与えている。

イ Bでは、前の文で安否を尋ねたことに続けて、自分たちの近況を知らせている。

ウ Cでは、接続詞を使って、この手紙の用件を伝える内容に話題を転換している。

エ Dでは、結びの挨拶として再び時候に触れながら、相手の健康を気遣っている。

三 次の文章を読み、後の(一)～(四)の問いに答えなさい。

著作権保護のため掲載していません。

(一) 文章中の に当てはまる言葉として適切なものを、文章中から三字でそのまま抜き出して書け。

(二) 文章中の——線部 1 に「それで皆少し慌てているところなのではないでしょうか」とあるが、これは囲碁についてどういうことに人々が気づき始めたからだと筆者は述べているか。その内容を、次のような一文で説明するとき、 に当てはまる適切な言葉を、二十字以上三十字以内で書け。ただし、句読点その他の符号も字数に数えるものとする。

A I との対局を経験したことを通して、囲碁は に、人々が気づき始めたから。

(三) 文章中の——線部2に「これはまさにシンギュラリティです」とあるが、筆者はシンギュラリティについてどのように述べているか。その内容として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア シンギュラリティが起きると人間にはできないことがたくさん出てくるが、実際にシンギュラリティの起きた囲碁の世界では、人間の努力によってAIとの均衡が保たれており、生活においても人間の努力によってAIとの良好な関係が築かれていくだろう。

イ シンギュラリティが起きると人間に不都合な状況になると考える人もいるが、実際にシンギュラリティの起きた囲碁の世界では、AIを使いこなすことで打つ手が豊かになり可能性が広がっている一方で、生活においてもAIとうまく付き合っていけるだろう。

ウ シンギュラリティが起きると人間の能力では追いつけない状況になると言われていたが、実際にシンギュラリティの起きた囲碁の世界では、人間がAIを使いこなして新たな成果を上げており、生活においてもこれまでと何も変わることはないだろう。

エ シンギュラリティが起きると人間の能力を超えた未知の領域に入っていくが、実際にシンギュラリティの起きた囲碁の世界では、そういった状況下でもあきらめずに研究を続けているので、生活においてもAIに支配されないように努力していくことだろう。

(四) 文章中の——線部3に「とてもいいなと思いました」とあるが、囲碁のチーム戦のどのようなことに対して、筆者はいいなと感じているのか。また、そのような筆者の考えについて、あなたはどのように考えるか。次の条件1・2にしたがって書け。ただし、句読点その他の符号も字数に数えるものとする。

条件1 全体を八十字以上百字以内にまとめること。

条件2 最初に、筆者の考えを簡潔に説明し、次に、それに対する自分の考えを、経験をふまえて書くこと。

三 次の文章を読み、後の(一)～(三)の問いに答えなさい。

唐の育王山の僧二人、布施を争ひてかまびすしかりければ、その寺の長老、大覚連和尚、この僧を恥ぢしめて云はく、「ある俗、他人の銀を百兩預かりて置きたりけるに、かの主死して後、その子に是を与ふ。子、是を取らず。『親、既に与へずして、そこに寄せたり。その物なるべし』と云ふ。かの俗、『我はただ預かりたるばかりなり。譲り得たるにはあらず。親の物は子の物とこそなるべけれ』とて、また返しつ。互ひに争ひて取らず、果てには官の庁にて判断を乞ふに、『共に賢人なり』と。『云ふ所当たれり。すべからく寺に寄せて、亡者の菩提を助けよ』と判ず。この事、まのあたり見聞きし事なり。世俗塵勞の俗士、なほ利養を貪らず。割愛出家の沙門の、世財を争はん」とて、法に任せて寺を追ひ出してけり。

(無住『沙石集』による)

(注) 唐の育王山：中国の阿育王山に建立された寺のこと。

布施：仏や僧に施す金銭や品物などの財。 恥ぢしめて：戒めて。

俗：俗人。出家していない人。 そこ：あなた。 官の庁：役所。

すべからく寺に寄せて、亡者の菩提を助けよ：(銀は)ぜひ寺に寄付して、故人の供養をせよ。

世俗塵勞の俗士：俗世間の煩わしさの中に生きる出家をしていない人。

割愛出家の沙門の、世財を争はん：執着を捨てて出家した僧が、現世の財を争ってよいものか。

(一) 文章中の——線部1の「争ひて」を現代仮名遣いに直して、——線部全部をひらがなで書け。

(二) (一) 文章中の——線部2に「見聞きし」とあるが、これと行為をする者が同じであるものを、文章中の——線部ア～エから一つ選び、その記号を書け。

(三) この文章で述べられている内容と合っているものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア 大覚連和尚は、布施のことで騒ぐ二人の僧に対して、他人から銀をもらった俗人が、銀を自分のためには使わず他人の息子のために役立てた話をして、出家をした僧でありながら財に執着する二人を追いつ出した。

イ 大覚連和尚は、布施のことで騒ぐ二人の僧に対して、彼らと同じような争いをして銀のこどもでもめていた俗人たちが、その銀を寺に寄付させられた話をして、もともと仏のものである財を争った二人を追いつ出した。

ウ 大覚連和尚は、布施のことで騒ぐ二人の僧に対して、他人から銀を預かった俗人が、預けた人の息子とその銀を譲り合って争った話をして、世俗を離れた僧でありながら財を争った二人を追いつ出した。

エ 大覚連和尚は、布施のことで騒ぐ二人の僧に対して、俗人が他人から預かっていた銀をその息子にすべて渡して責任を果たした話をして、高い徳を身につけるべき僧でありながら責任感がない二人を追いつ出した。